

2022年4月6日

AGC、スペイン合成医薬品生産拠点の設備増強を決定

AGC(AGC株式会社、本社:東京、社長:平井良典)は、当社合成医薬品*1CDMO*2 事業子会社であるAGC Pharma Chemicals Europe S.L.U. (以下APCE社、本社:スペイン)の設備増強を決定しました。同社敷地内に延床面積 7,500 ㎡の建屋を新設し、現在の生産能力を 30%増強します。稼働開始は 2024 年上期を予定しており、投資総額の見込みは約 120 億円となります。



設備增強予定地 (黄線部分)

APCE社は自社の長い歴史と豊富な実績をベースに、AGCが長年培ってきた化学合成技術やフッ素を取り扱う知見なども取り入れ、年率7%以上の成長を続ける合成医薬品CDMO市場の成長を上回る勢いで受託件数を伸ばしています。この旺盛な需要に対応するため、2020年4月発表の30%設備増強に加え、更なる増強を決定しました。本増強では、近年需要が高まっている抗がん剤などに代表される高薬理活性原薬(HPAPI)*3に対応した設備も導入します。また、新設する建屋は本増強後の生産能力をさらに拡張する余地があり、今後、追加の増強を検討していきます。

AGCグループは、中期経営計画 AGC plus-2023 のもと、合成医農薬・バイオ医薬品CDMOを含むライフサイエンス事業を戦略事業のひとつと位置付け、2018年の売上高 449億円を、2022年には 1,350億円、2025年には 2,000億円以上へ拡大を目指しています。合成医農薬CDMO事業において、本件は 2021年11月のAGC若狭化学の設備増強に続く投資であり、バイオ医薬品CDMO事業と合わせ、今後も積極的な買収・設備投資を行っていきます。引き続き、各地域のお客様にグローバルで統一された高水準の品質・サービスを提供できるよう各拠点のシナジーを最大限に発揮させ、製薬会社、患者様、そして社会に貢献していきます。

◎本件に関するお問い合わせ先:

News Release

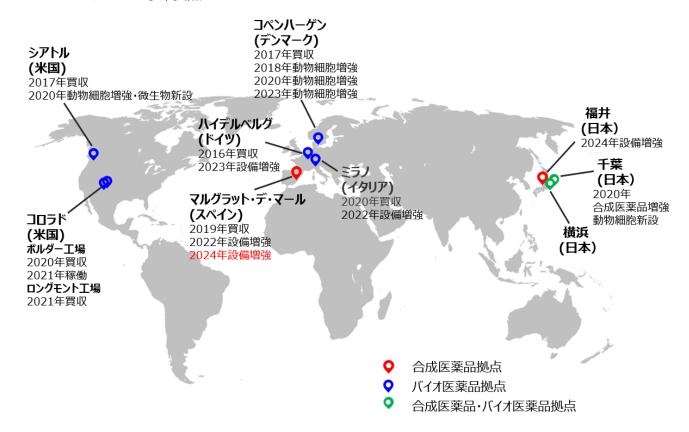


<注釈>

- *1 合成医薬品:化学合成により製造された医薬品。低分子医薬品。
- *² CDMO: 製造受託に加え、製造方法の開発を受託・代行する会社 (Contract Development & Manufacturing Organization)
- *3 OEB4 (1~10µg/m3) までの取り扱いが可能

<ご参考>

■AGCグループCDMO事業拠点



AGC株式会社 広報·IR部長 小川 知香子

(担当:中尾 TEL: 03-3218-5603 E-mail: <u>info-pr@agc.com</u>) *個人情報は当社プライバシーポリシーに従ってお取扱いをさせていただきます。